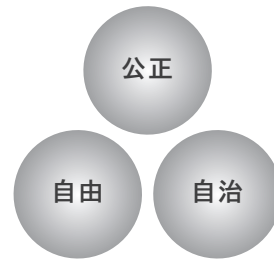


●東京都市大学とは

工学部、知識工学部、環境学部、メディア情報学部、都市生活学部、人間科学部の6学部18学科を擁し、武蔵工業大学の時代からの工学教育の伝統を活かした専門力を鍛える大学です。科学技術から生活福祉までの幅広い領域を網羅して、美しく持続可能な環境の創出、生活文化の向上、活力ある産業の進展を目指して、時代と社会の要請に応える教育研究を展開しています。創立以来の豊富な実績のある産業界との連携では民間企業からの受託研究件数も多く、都市工学、ナノエレクトロニクス、自動車、グリーンインフラの各分野での研究推進に加え、都市のスマートエイジングに多面的に取り組み、ソフト、ハード両面から持続可能な成熟都市形成に向けた積極的な研究開発を開始しています。2019年には創立90周年を迎えます。

＜時を超え未来へと受け継がれる建学の精神＞

“公正”“自由”“自治”を活かしながら新たな発展へ「学びたい」という一心のもとに学生自らが支援者、教えてくれる人と校地・校舎を探索したことによって創立されたという経緯を尊び、「創立時における学生の熱情」を大切にするとして、グローバルな時代に有為な人材育成に努めることを社会に誓う夢と希望のシンボルです。この優れた精神を継承しながら、新しい時代と社会の要請に応える大学へとさらなる進化を遂げます。



＜教育理念＞

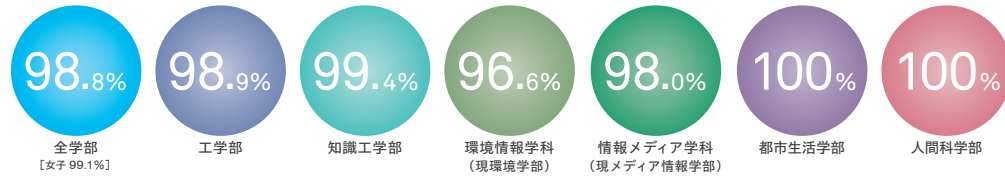
ボーダーを超えて、学生と教職員が共に考え、学び、行動することで社会に貢献できる人材を育てる

東京都市大学のキャリア形成サポート

●80年を超える就職実績

「研究によって身につく実践力」と「一人ひとりへのサポート」で高い就職内定率を実現

＜就職内定率＞



●学生の成長を促す多様なプログラムを提供

東京都市大学では、TAP、海外学生交流派遣プログラム、小中学生対象の科学体験教室、授業や学修支援のアシスタントスタッフ、海外インターンシップ、東急グループインターンシップ、社会で中核的な役割を担うための能力を身につけるリーダーシップ研修、自治体や地域社会への貢献活動への参画など、幅広い多様な活動プログラムを提供しています。また、学生の主体的な活動の場として二子玉川夢キャンパスを活用しています。

TAP (東京都市大学オーストラリアプログラム)
1年次の準備教育と2年次の5か月間のオーストラリア留学をあわせた本学独自の国際教育プログラムにより、語学力と国際性を休学の必要なく身につけることができます。

海外インターンシップ
自分たちの学んできたことに対する実践の場として、また、他の国々の本当の姿を知る場として重要な役割を担っています。日本とは違う環境や価値観に触れることで、バックグラウンドの異なる人との相互理解能力やコミュニケーション能力を向上させることができます。

科学体験教室
子どもたちの科学技術や理科に対する関心を高めて創造性や探求心の育成を目指した活動を学内外で積極的に推進しています。活動に参画する学生は常に創意工夫をしながら子どもたちの興味を引き出すコミュニケーターとしての役割を担っています。

世田谷区や横浜市都筑区との協定に基づく地域貢献活動
本学が所在する世田谷区や横浜市都筑区と協定を締結し、東京23区唯一の深谷である等々力深谷の清流化プロジェクトや、都筑区と協働して学生による地域での様々な調査・研究成果の発表など、地域課題の解決のための取り組みを積極的に行っています。

東京都市大学のビジョン

80年を超える専門的実践教育の伝統に加えて、「都市」をキーワードに時代の要請に取り組み、国際都市東京で存在感を示す有数の私大を目指す

●ビジョン達成のための中長期計画「アクションプラン2030」

東京都市大学は、「ビジョンー目指す大学像」達成のために、以下の4つのプロジェクトによる中長期計画(施策・事業)を策定しています。計画実現に向けて、教職員が一丸となって推進してまいります。

- 教育の質保証** グローバル社会で活躍できる人材を育成するためのプログラムとシステムの確立
- キャンパス教育環境向上** 実学教育の伝統を活かした学習環境と世界の学生が集えるキャンパスの実現
- ブランド力向上** 教育研究、環境、運営が連動し醸成される先進感と信頼感あふれる都市大ブランド力の確立
- 大学運営向上** さらなる教育研究の発展を推進する運営体制の確立



超える、つながる、その夢に。

東京都市大学

TOKYO CITY UNIVERSITY

SINCE 1929

文部科学省採択事業

大学教育再生加速プログラム

Acceleration Program for University Education Rebuilding

—テーマV— 卒業時における質保証の取組の強化

Acceleration Program (AP)とは

文部科学省による事業で、高等学校や社会との円滑な接続のもと、3つの方針(「卒業認定・学位授与の方針」「教育課程編成・実施の方針」「入学受入れの方針」)に基づき、入口から出口まで質保証の伴った大学教育を実現するため、先進的な取組を実施する大学等(短大、高専含む)を支援することを目的としています。平成28年度に新たに設定されたテーマV「卒業時における質保証の取組の強化」では、申請があった116件の中から本学を含めて19件が採択されました(採択率は16%)。本学では、この事業を通じて、学生のキャリア形成と、社会で必要とされる能力の獲得を含む卒業時の質を保証するための取組を推進しています。

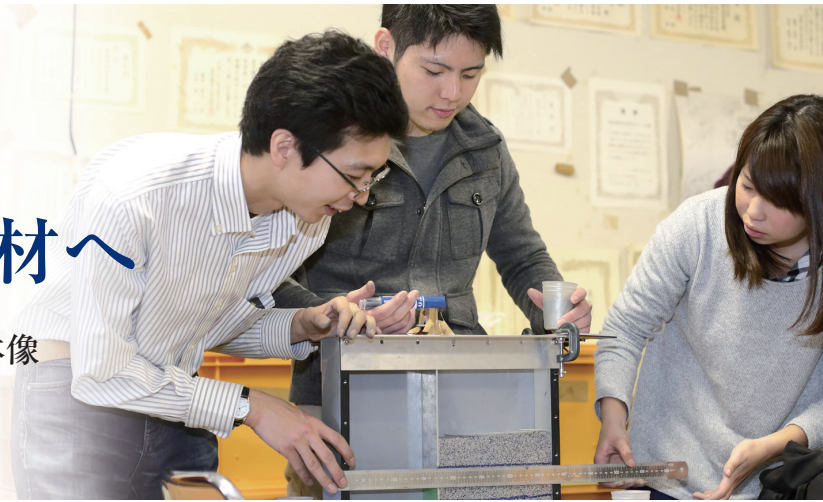


大学教育再生加速プログラム



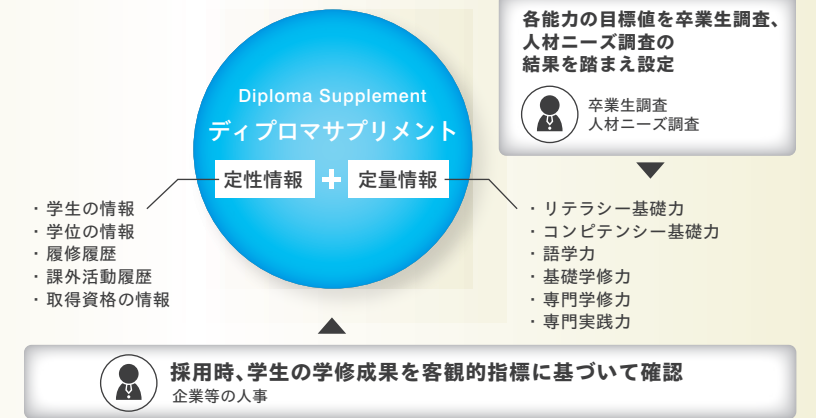
自ら学び、 社会の発展に貢献する 責任感と実践力を持った人材へ

「テーマV」卒業時における質保証の取組の強化」事業全体像

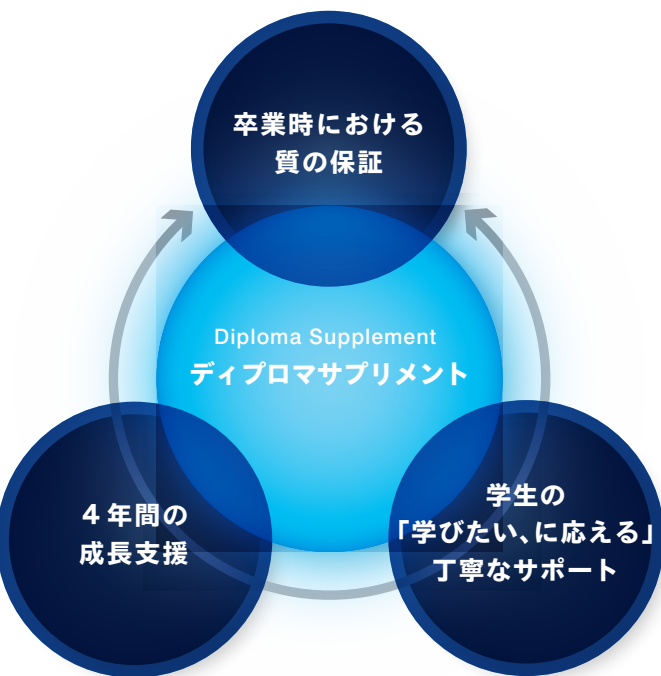


ディプロマサプリメントとは……

ディプロマサプリメントはヨーロッパで導入されている学位の「内容証明書」というべきもので、学修の履歴や時間、達成度、取得資格などを共通の様式で記したものです。本学では卒業時まで目指す能力獲得の到達度を見据え、同じ様式のプレ・ディプロマサプリメントで低学年から自分の力を定評観測できるようにし、学生はその結果を踏まえて目標設定と学びを繰り返します。各能力の目標値は約5,000社の企業対象の人材ニーズ調査及び社会人5年目と15年目の計3,000人を中心とした卒業生調査の結果を踏まえて設定し、客観性を担保します。



育成する人材像に基づいて体系化された多面的な評価指標を用いて「ディプロマサプリメント」を開発し、卒業時まで身に付けた成果を客観的に社会に提示できるようにします。さらに、キャリアガイダンスでの「ディプロマサプリメント」の解説、各年次終了時での「プレ・ディプロマサプリメント」の提供、「キャリア・ポートフォリオ」の活用、個別学修支援体制の強化などによって学修の習熟度を学生と教職員が共有し、学生自らが学びのPDCAサイクルを回すことによる自己理解と成長を強く支援していきます。学びの成果を可視化することで、本学の育成する人材像である『自ら学び、社会の発展に貢献する責任感と実践力を持つ人材』の社会への輩出と、3つのポリシーに基づく大学教育改革を実現していきます。



入学前ガイダンス (ワークショップ)

AO型入試や推薦入試に合格した入学予定者を対象として、学生生活への意欲を高め、人間関係構築の自信をつけるとともに、自己理解を深めるために入学前にワークショップを実施しています。

事業の質を評価
外部評価委員会 [企業、行政、研究機関、他大学教員、卒業生、高等学校関係者など]